

## 2. 底生動物調査結果の概要

## 2. 底生動物調査結果の概要

### (1) 確認種数

今回とりまとめを行った25河川で確認された底生動物は、貝等の軟体動物、ミミズ等の環形動物、及びエビ類、昆虫類等の節足動物等56目211科727種です。

### (2) 特定種の確認種数(資料II.2.1)

今回とりまとめを行った25河川で確認された特定種は、レッドリスト絶滅危惧I類に指定されているナカセコカワニナやコガタノゲンゴロウ、準絶滅危惧種に指定されているハクセンシオマネキ等30種でした。

#### (注1) 特定種の選定基準について

本資料においては、次のものを特定種としています。

- ・「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種及び緊急指定種
- ・環境庁編(2000)「レッドリスト」掲載種
- ・環境庁編(1991)「日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—」掲載種
- ・環境庁編(1976)「緑の国勢調査(第1回自然環境保全調査)」における「すぐれた自然の調査」主要野生動物一覧の掲載種
- ・環境庁編(1982)「緑の国勢調査(第2回自然環境保全基礎調査)」における「日本の重要な昆虫類」指標昆虫類

(注2) 底生動物で扱っているミズムシはカメムシ目(半翅目)です。同じ和名の種がワラジムシ目(等脚目)にも存在します。

### (3) 外来種の確認種数(資料II.2.2)

今回とりまとめを行った25河川で確認された外来種は、16種です。

#### (注) 外来種の選定基準について

本資料における外来種は、おおよそ明治以降に侵入したと考えられる国外由来の動植物とし、侵入後に日本で定着した種であるか否かは、判断が困難な種があるため考慮していません。また、外来種の選定は、資料I.5(42~43ページ)に示した文献及び学識経験者の意見により行っています。

### (4) モクズガニの確認された地域(資料II.2.3)

確認状況の概要は、7ページに示すとおりです。

### (5) イシガイ科及びカワシンジュガイ科の確認種数(資料II.2.4)

確認状況の概要は、7~8ページに示すとおりです。

### (6) カゲロウ目、カワゲラ目、トビケラ目の確認種数(資料II.2.5)

確認状況の概要は、8ページに示すとおりです。

### (7) スクミリングガイ(ジャンボタニシ)の確認された地域(資料II.2.3)

確認状況の概要は、17ページに示すとおりです。

(8) カワヒバリガイ、コウロエンカワヒバリガイの確認された地域 (資料II.2.3)

確認状況の概要は、17～18ページに示すとおりです。

(9) モクスガニ、スクミリンゴガイ (ジャンボタニシ)、カワヒバリガイ、コウロエンカワヒバリガイの確認状況の経年比較 (資料II.2.6)

確認状況の概要は、7、17～18ページに示すとおりです。